

平成 2 5 年度

建築都市局予算要求方針

【目次】

- 1 平成 2 5 年度建築都市局予算要求総括表及び経営方針 1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの 4
- 3 事務事業の見直し等（主なもの） 7

1 平成25年度建築都市局予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成25年度建築都市局予算要求総括表

【一般会計】

平成25年度要求総額 21,303,454千円
 (平成24年度予算額 21,428,367千円)
 前年度比 0.6%

《主な事業》

(単位：千円)

局の柱	事業名	平成25年度 予算要求額 A	平成24年度 予算額 B	増減 A - B
(1)	折尾地区総合整備事業 (連続立体交差・街路事業等)	3,103,022	2,534,800	568,222
	[参考] (折尾土地地区画整理事業)	1,291,550	812,774	478,776
	一般会計 + 特別会計の合計	4,394,572	3,347,574	1,046,998
(2)	⑧ 環境首都総合交通戦略の推進	309,618	184,918	124,700
(3)	城野ゼロ・カーボン先進街区形成事業	2,101,710	350,000	1,751,710
	環境未来都市住宅リフォーム等促進事業	200,000	200,000	0
	市営住宅太陽光発電整備促進事業	32,000	54,900	22,900
(4)	⑧ 狭あい道路拡幅整備事業	51,000	24,900	26,100
	老朽家屋等除却促進事業	40,000	40,000	0
	⑧ 老朽危険家屋対策推進事業	14,560	2,382	12,178
	市民との協働による景観づくり	16,500	21,300	4,800
(5)	⑨ 中古住宅流通促進事業	60,000	0	60,000
	都市モノレール長寿命化事業	840,900	1,100,000	259,100
	市営住宅整備事業	3,418,891	3,711,700	292,809
(6)	⑧ 民間建築物耐震改修費等補助事業	155,000	147,000	8,000
	市有建築物耐震化推進事業	84,000	93,000	9,000

局の柱番号の内容については3頁に記載

【北九州市土地区画整理特別会計】

平成25年度要求総額 1,757,000千円
 (平成24年度予算額 1,279,000千円)
 前年度比 +37.4%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成25年度 予算要求額 A	平成24年度 予算額 B	増減 A-B
折尾土地区画整理事業	1,291,550	812,774	478,776

【北九州市土地区画整理事業清算特別会計】

平成25年度要求総額 1,700千円
 (平成24年度予算額 1,800千円)
 前年度比 5.6%

【北九州市住宅新築資金等貸付特別会計】

平成25年度要求総額 73,300千円
 (平成24年度予算額 97,000千円)
 前年度比 24.4%

【北九州市駐車場特別会計】

平成25年度要求総額 502,000千円
 (平成24年度予算額 616,000千円)
 前年度比 18.5%

【北九州市学術研究都市土地区画整理特別会計】

平成25年度要求総額 4,459,000千円
 (平成24年度予算額 2,865,000千円)
 前年度比 +55.6%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成25年度 予算要求額 A	平成24年度 予算額 B	増減 A-B
北九州学術・研究都市北部 土地区画整理事業	2,053,000	2,524,000	471,000
地方債償還	2,257,850	230,850	2,027,000

(2) 平成 2 5 年度建築都市局経営方針

建築都市局においては、「元気発進！北九州」プランの基本方針に加えて、重点的に取り組むべき政策課題「緑の成長戦略で、人にやさしく元気な街づくり！」も踏まえ、「活力のあるまち」、「環境にやさしいまち」、「誰もが暮らしやすい安全なまち」を実現します。

活力のあるまち

(1) 都市の発展を支える拠点地区の整備

- ・折尾地区や北九州学術研究都市北部などの基盤整備とともに、低炭素化に配慮した先導的な共同住宅の整備を促すことで、街なかでの低炭素建築物の普及を支援します。

(2) 交通・物流基盤の機能強化とネットワーク化

- ・広域物流ネットワークの強化や環境首都総合交通戦略の推進に取り組み、環境首都にふさわしい交通体系の実現をめざします。

環境にやさしいまち

(3) 地域からの低炭素社会への取り組み

- ・城野ゼロ・カーボン先進街区を形成するとともに、住宅のエコ化やバリアフリー化に対する助成を行い、良質な住宅・建築ストックの形成を図ります。

誰もが暮らしやすい安全なまち

(4) 快適に暮らせる身近な生活空間づくり

- ・老朽家屋等の対策や市民との協働による景観づくりなどに取り組みます。

(5) 都市基盤・施設の効率的な活用・整備

- ・市営住宅の耐震改修などに計画的に取り組むとともに、北九州モノレールのインフラ部分の長寿命化等を推進します。

(6) 安全で安心できるまちづくり

- ・災害に強いまちづくりとして、民間建築物耐震改修費等補助などを行います。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) 都市の発展を支える拠点地区の整備

生活支援拠点の充実

-1・継続

・折尾地区総合整備事業

4,394,572 千円

折尾駅周辺連続立体交差事業・街路事業等 3,103,022 千円

折尾土地区画整理事業 1,291,550 千円

折尾駅周辺の鉄道の立体化により踏切を除去するとともに、一帯の幹線道路整備や鉄道跡地を含む土地区画整理の面整備を総合的に実施することにより、交通渋滞の解消、住環境の改善、まちの一体化、回遊性の向上などを図り、折尾地区を魅力ある学園都市として、また、広域交通拠点として整備します。

平成25年度は、駅周辺において短絡線の高架や盛土工事を促進するとともに、土地区画整理事業において堀川町地区の家屋移転補償や整地工事を推進します。

戦略的拠点の機能強化

-1, -4
継続

・北九州学術・研究都市北部土地区画整理事業

2,053,000 千円

周辺の自然環境や都市環境を活かしながら、先端科学技術に関する教育・研究機関の集積や良好な住宅地の供給を目標にした複合的なまちづくりを進めており、引き続き宅地や道路等の整備を行います。

(2) 交通・物流基盤の機能強化とネットワーク化

利便性の高い交通ネットワークづくり

-1, -2
拡充

・環境首都総合交通戦略の推進

309,618 千円

(うち拡充分 89,000 千円)

過度のマイカー利用から地球環境にやさしい公共交通への利用転換を促すため、利用促進の意識改革を図るモビリティ・マネジメントや、駅・主要なバス停において乗り継ぎや待合い環境等を改善する交通結節機能の強化を実施します。

あわせて、低床式バスの導入促進を図る助成を行うなど、公共交通の利便性向上や利用促進に取り組みます。

(3) 地域からの低炭素社会への取組み

低炭素社会を実現するストック型社会への転換

-2・継続

・城野ゼロ・カーボン先進街区形成事業

2,101,710 千円

小倉北区域野地区において、様々な低炭素技術・方策を総合的に取り入れて、ゼロ・カーボンを目指した先進の住宅街区を整備するため、土地区画整理事業（施行主体であるUR都市機構への補助金）や駅前広場等の整備を行います。

-2・継続

・環境未来都市 住宅リフォーム等促進事業

200,000 千円

「環境未来都市」として本市が解決すべき課題として掲げる「環境」、「超高齢化」に対応した良質な住宅ストックの形成を促進するため、住宅の省エネ機能やバリアフリー性能向上に係る工事等について助成を行います。

-2・継続

・市営住宅太陽光発電整備促進事業

32,000 千円

本市のCO2削減に取り組み、環境配慮型建築物の普及促進に努めるため、建替えの市営住宅だけでなく、既存の市営住宅についても、改修（長寿命化工事）にあわせ、太陽光発電設備を設置します。

(4) 快適に暮らせる身近な生活空間づくり

彩のあるまちづくり

-1・拡充

・狭あい道路拡幅整備事業

51,000 千円

（うち拡充分 18,000 千円）

幅の狭い道路に面した建築物の建替え等が行われる際に、後退しなければならない土地を市に寄付してもらうことにより、安全で住みよい住宅市街地の形成に取り組みます。

なお、既に建築行為が完了している場合等も、事業対象とします。

-1・継続

・老朽家屋等除却促進事業

40,000 千円

住環境の改善を図るため、昭和35年以前に建築された老朽家屋等で、人力解体しできないために通常と比べて割高となる除却費の一部を助成します。

-1・拡充

・老朽危険家屋対策推進事業

14,560 千円

(うち拡充分 11,400 千円)

老朽危険家屋について、所有者に対し適正な維持保全を促すため、管理台帳の整備を行うなど、対策の充実を図ります。

うるおいのある空間づくり

-1、 -3

継続

・市民との協働による景観づくり

16,500 千円

景観資源の発見・活用や、地域主体の景観づくりの取り組みを積極的に支援するとともに、景観意識の向上や担い手育成に取り組みます。

(5) 都市基盤・施設の効率的な活用・整備

既存ストックの活用

-3・新規

チャレンジ枠

・中古住宅流通促進事業

60,000 千円

中古住宅市場において、安心して取引のできる環境を整備することで流通の活性化を図るため、中古住宅の売買に際して、住宅瑕疵担保責任保険法人による検査、瑕疵担保保険への加入を行うものに対し、その費用の一部を助成します。

-3・継続

・都市モノレール長寿命化事業

840,900 千円

モノレールの軌道桁や支柱などインフラ部の長寿命化、維持管理費の縮減を図るため、北九州モノレール長寿命化計画に基づき、劣化対策や耐震補強など、長寿命化事業を実施します。

-3・継続

・市営住宅整備事業

3,418,891 千円

老朽化の著しい市営住宅 148 戸の建替えに着手するとともに、既存市営住宅について、ストック改善、ストック長寿命化、耐震改修工事を実施します。

(6) 安全で安心できるまちづくり

災害に強いまちづくり

-1・拡充

- ・民間建築物耐震改修費等補助事業 155,000 千円
(うち拡充分 8,000 千円)

昭和56年以前に建築された木造住宅、分譲・賃貸マンション、特定建築物で、耐震診断や耐震改修等を行う際に、要する費用の一部を補助します。

このうち、木造住宅の耐震改修補助戸数を増加するとともに、マンションの耐震改修を促進するため補助対象の拡充を行います。

-1・継続

- ・市有建築物耐震化推進事業 84,000 千円

市の耐震改修促進計画に基づき、市有特定建築物の耐震化を推進するため、耐震性能を有していない建築物について、耐震補強計画及び実施設計を行います(平成24年度までに耐震診断は、完了予定)。

3 事務事業の見直し等(主なもの)

(1) 行政評価による見直し

狭あい道路拡幅整備事業

事業対象について、「建築行為等を行うために、支障物件を除却し、後退用地を市に寄付したもの」に限っていたものを「建築行為等(既に完了したもの等を含む)を行うため、支障物件を除却し、後退用地を市に寄付したもの」に改めます。

民間建築物耐震改修費等補助事業

市民の耐震化への関心が高まってきており、耐震改修費等補助実施件数のさらなる増加が見込まれることから、予算を増額します。

あわせて、マンションの耐震改修については、補助対象の拡充を行います。